

長野県手をつなぐ育成会

2012年度第1号 平成24年10月20日発行 長野県手をつなぐ育成会 会長代行。中村、彰 380-0928 長野県社会福祉総合センター 5F TEL 026-227-6811 FAX 026-227-6836 ikuseikai-nagano@cyber.ocn.ne.jp

平成24年度第49回県大会報告

真っ向勝負で共通理解の輪を 「積年の課題、



アッ の熱いメッセージで幕をあけました。をつなぐ育成会会長に選出された中村彰さんから

、以下会長挨拶より抜粋 ップルにて開催が7月4日、 **歴され、5月の総会にて長野県手** 長野県障害者福祉センターサン(49回長野県手をつなぐ育成会大

を求める母親たち

Ó

勇気ある行

動

により、

遡ること半世紀前、

社会的差別を受け

障害児の福祉施策

0) ン整備

• 充実

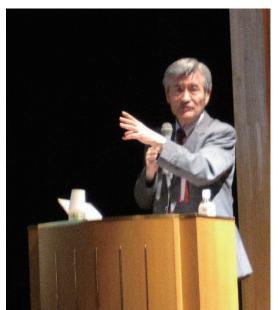
理解 まの 焉を 大切 たいと考えます きる社会」 今後 多くは望めない グループホームで、 日に至る社会を築い 間に県内各市町 本会は結成され 同が真っ向戦 解を深め、地域社会を巻き込まんこへ向け、大いに議論喚起を促し、共当会結成50周年の節目となる次年度 て、 我々の課題 政 等関 その 制 迎 の議論喚起 えんら 健常の しながら旅立ちを迎えることなど 他 • 係機関や に れるの みません 施策では、 0) 勝負で取り より良き実現に向け、 も 人々と同じような老後 0) いました。 0) 0) 村に波及・ 教育 ではない 起点にし でしょうか つである 地域社会を動か それまでの てきました。 住み慣 組 その た む理解を深め して「共に生 でしょうか 「高齢 組織化され、 れた施設 0 動きは瞬く v 繋がり 現在 と考えま 0) • 通议 を ま終

「平成24年度活動方針」もご参照ください。) 化 教育の課題については本紙後半掲載 0)

基調講演「障害者の地域生活と育成会活動」金子健氏 パネルディスカッション「親たちが求めている育成会活動」

権を守ること」が欠けていることを指摘され、長野県の長野県における地域移行3点セットの問題点として、「人 現状と差別禁止条例の制定にむけた課題を提示して頂き 齢化」という3つの課題についてお話しして頂きました。 彰会長のコーディネートのもと、「教育」「障害者差別」「高 会監事)堀米信一さんの3人を提案者にお招きし、中村 ている島崎潔さん、NPO法人豊野結いの会事務局長(当 人も共に活きる社会を目指す研究会座長をお努めになっ 基調講演後、 講師の金子健さん、 障害のある人もない

ないような教育を行っていくのに、保護者は中心的な役てお話し頂きました。また今後、差別という意識を持た ションの実現のための考え方、方向転換の必要性につい もふれながら、主に学校教育におけるノーマライゼイ お父様が諏訪のご出身で、ご自身も以前、長野県の養護 からぬご縁があります。長野県教育の歴史や優れた点に 学校地域化推進協議会委員を務められたことがあり、 講師の全日本手をつなぐ育成会理事の金子健さんは、





でした。

親を支えて、

より重要な役割を担うようになるとのこと

特に育成会は若い世代の

割を果たしていく必要があり、





今年度の表彰者は以下の皆様です。

公私にわたる知的障害児者への深い愛情と温かなご指導に改めて感謝するとともに、 これからも益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

感謝状(前回大会開催地)

須坂・小布施・高山手をつなぐ育成会

感謝状(知的障害者の支援活動に対して)

株式会社柿/木農場 代表取締役会長 柿沼 滋氏

(多年にわたり、多くの知的障害者を雇用し、グープホーム設置などその生活を支え続けている)

NPO法人麦っ子広場代表 井上 和美氏

(知的障害者に音楽やダンスによる余暇活動を組織し、生活の質的向上に貢献された)

表彰状

佐藤 綾(長野市/会社から勤続20年表彰を受けるなど、長年にわたり、日々熱心に仕事を続けている)

桑原 淳(長野市/24年間にわたり、会社勤めを続けている)

田中将也(木曽/共同作業所で作業能力を培い、一般就労を果たし、元気に働いている)

三木俊雪(長野市/25年間にわたり、会社勤めを続けている)

上田明男(上伊那郡/長年に亘り上伊那郡育成会の会計を担当するなど、会の組織運営に貢献した)

小平裕子(駒ヶ根市/12年間駒ケ根市会長を務める等長年に亘り駒ケ根市の役員として、その発展に努力された)

出席者の声

ただきました。の父兄の立場で県大会の感想を寄稿していの父兄の立場で県大会の感想を寄稿してい会議員でもある金沢敦志さんより、障害児会野市手をつなぐ育成会々員で長野市議

「障害のある人もない人も共に生く御礼申し上げます。また、本大くの示唆を頂戴しました事を御礼くの示唆を頂戴しました事を御礼くの示唆を頂戴しました事を御礼申し上げます。また、本大きの示唆を頂戴しました事を御礼申し上げます。まずは日頃、育成会でご尽力さ

がします。学ぶ機会がなくなってしまった気

障害者を支援する施設の近隣では、障害者を支援する無限不足からは、障害者を理解する。差別的な発言が未だ聞かれます。差別的な発言が未だ聞かれます。差別を禁止する条例も必要かる教育をすべきではないでしょうか。

男女同権や同和教育といった差別問題に関しては学校教育のプログラムにあるようですが、障害者が中学校で障害者を理解する教育のでのののででででが、障害者をする活動を提案させて頂きる教育のですが、障害者といった差別問題に関しては学校教育といった差別の場所を表

※金沢敦志さんのホームページにも県大会の様子の報告があります。ご参考までの様子の報告があります。ご参考まで1303614573.html

今年度の県大会当番は、長野市でした。今年度の県大会当番は、長野市でした。のは年の明けた3月頃でした。 今年度の県大会当番は、長野市でした。 今年度の県大会当番は、長野市でした。 なんとか県の施設がありますが、安い会場を見つけるのはなかなか困難が広い、そんな3点セット盛り込みの好が広い、そんな3点セット盛り込みの好が広い、そんな3点セット盛り込みの好が広い、そんな3点セット盛り込みの好が広い、そんな3点セット盛り込みの好が広い、そんな3点セット盛り込みがありますが、日程の調整と会場でした。

県大会運営を終えて

役員は大会を見ることも聞くことも無であるでみなさまお疲れ様でした。を加の皆様には、ゆっくりお昼を食た。参加の皆様には、ゆっくりお昼を食た。参加の皆様には、ゆっくりお昼を食を。参加の皆様には、ゆっくりお昼を食をあれてれの立場で大会成功へのを力を怠らずよく頑張りました。

平成24年度長野県手をつなぐ育成会総会報告

平成24年5月12日(土)13:30よりJA長野県ビル12階大会議室にて平成24年度の総会(代議員会)が開催されました。

平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度の事業計画及び予算についての報告の後、質疑応答があり、白熱した議論が展開されました。

(事業報告、会計報告など総会資料は各地区の代議員が持っていますので詳細 についてお知りになりたい場合はお問い合わせください)

2つの大きなテーマとして 本人の高齢化の問題と 教育に関してのことが 提言されたが内から外へ 侵入ば地域住民等が集まる会合 などへの働きかけも 必要だと思う 平成 24 年度 長野県手をつなぐ育成会 総会 展別場サナルCXAA

50年を振り返り 次のステップに進むことを 考えていきたい。 考えていきたして 新しい取り組みをするにあたり 自分の子だけでなく次の世代に向けて ない心で考えていきたい。

先人の方々が一つ一つ 切り開いてきた道のりを 次の世代に語り継いで いく事は大切なこと。 諸先輩方々に感謝したい。 新規の会員を増やすには?…についてですが についてですが 養護学校の会員を増やすことも 一案ですが 地区の学校の特別支援学級にも 何らかの対策を していただければと思う。

77



役員改選が行われ、 これまで会長代行であった 中村彰氏が 会長に就任しました。



中村 彰(新任)

副会長は以下の5名の皆さんです。



佐藤千枝 (東信、新任)



馬場一郎 (北信)



飯沼寿太郎 (中信)



大槻正春 (南信)



塚田なおみ (長野市)

監事

堀米信一、小林久夫、城取勝茂(新任)

会計顧問 山口栄子

事務局

刈間靖(事務局長)、塚田洋子、宮本ミエ子、前川久雄、櫻井尚江(新任)

長野県手をつなぐ育成会 平成24年度 活動方針

本会は今から半世紀ほど前、知的障害児を持つ母親たちにより、社会的差別を受けている子どもたちの福祉施策の整備・充実を求める動きの中で、結成されたと認識しています。

その後、その動きは県内各市町村全域に波及・組織化され、行政等関係機関や地域社会を動かし、今日に至る社会を築いてきました。先人による活動の数々は、決して簡便に記すことはでき得ない大変なものであったろうと只々、敬意と感謝を申し上げるばかりです。振り返ってここ10年ほどの当事者団体としての活動は、どのようなものであったでしょうか。

主として福祉関係者の皆さんが、私どもに代わって(私たちの声を受けて?)、当事者本人の人としての在りよう・生活形態等に思いを馳せ、制度・施策に切り込んで新たな福祉サービスの創設や推進を図ってきていただいたのではないでしょうか。

育成会ではご本人やご家族が楽しめる、そしてそこから繋がっていく小さな輪は拡がっているようには感じますが、もっともっと大きなうねりを当事者団体として形成していかなければならない時期に来ているのではないでしょうか。

以上のような観点から、本会結成50周年の節目を迎える次年度以降に向け、昨年度実施の 諸活動は更に充実させていくことを前提に、以下2点を重点施策と位置付け、関係団体等と積 極連携の下、活動を進めてまいりたいと考えます。

会員各位のご理解とご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 教育に関すること

就学前の療育、小中高の学校教育、更には生涯教育に至るまで、現在の教育体制で良いのか…、どのような制度設計が良いのか…等、そして切れ目の無い連携・連続性のある教育について等々、発達障害等関係団体の皆さんや行政等関係機関も交え、積極的に議論喚起、研修等の機会を設けていきたいと考えます。

2. ご本人の高齢化に伴う終の棲家に関すること

身体がご不自由になったり、医療的ケアを必要とする状態になった時、 今の入所施設等における状況は一体どうなっているのでしょうか。

福祉関係者の皆さんは一生懸命、自分たちができることを各法人の施策に基づき、実施していただいているものと思います。が、各法人の運営・経営環境等により、難しい状況下に在ることも理解しなければならないことかと感じます。

抜本的な解決策を見出す為にも、関係団体等に声掛けし、協議していく場を設けていきたいと考えます。

※この活動方針はとても大切な内容ですので全文掲載しました。



地区だよりわたしたちの育成会



7

東信地区

恒例お花見会



4月29日、東信地区恒例のお花見会が小諸「懐古園」にて開催されました。

当日は、3年目にしてやっと晴れてお花見らしい日となりました。佐久市、小諸市の会長さん、地元の「小諸みかげ」の利用者さんも大学参加してくれました。総勢22名とワンコ2匹でお花見をしました。

園の中でおでんを買ったりお弁当を食べたりと、 やはり「花より・・・」でしたが楽しい一時を過ごしま した。

帰りごろには、暖かい日差しに桜も舞ってきれい な桜を満喫できました。

幹事 御代田町手をつなぐ育成会 前川久雄

親睦ハイキング



佐久穂町

前日の雨がうそのようにお天気に恵まれた6月10日(日)佐久穂町手をつなぐ育成会、会員43名で佐久穂町社会福祉協議会からリフト付きバスをお借りし、塩尻農業公園チロルの森へ行ってきました。入場ゲートから園内にはいいると初夏の香りと澄んだ高原の風が吹き抜け、逸る気持ちを抑え、噴水の前で記念撮影を「はいポーズ!」る風を感じ、動物ふれあい広場では、モルモットを抱き体温を感じ、100円で買った餌をリスにあげ、初めて会りの姉弟に餌あげてみる?声をかけ一緒にあげたり、ウサギやヤギともふれあい、ワインとまきばの丘では、中人とした大海にあり、日本庭園を散策し穏やかな時を心に感じたり、チュウトレインに乗り園内を回る会員、歩きながら森の散歩道の香りを感じたり、町のレストラン街のアップフェルバーさな動物ふれあい広場で大満足ピクニック弁当とドリンクトーででのどを潤して、午後はやっぱり大手を動物ふれあい広場で大満足の時を過ごす会員、遊びのエリアではゴーカードに乗りスピードを楽しみ、アーチェル・分別の的の真ん中に行かず何度も挑戦、足こぎボートの池で他の会員が乗る足こぎボートにこっちに来てと声い会員の声を聞きながら、この親睦ハイキングだからこそのつぶやきをつなげていこうと思いながら、大自然だからこその会員同士のふれあい、親睦もはかることができ、心もお腹もいっぱいの1日でした。

佐久穂町手をつなぐ育成会 副会長 菊池元美